

gopira-opinions

- 2020/04/04に流した[gopira:01113] 諸連絡で告知
- 3) ご意見専用メールアドレスを作成しました。

gopira-opinion(at)gopira.jp

匿名でのご意見としたい方はその旨をメール本文にお書きください。事務局で送信元を削除したうえで運営委員で共有します。どうぞご活用下さい。ただし全ての投稿に対応できるとは限らないことはご了承ください。

実際にいただいたご意見について 1

- (当時、国立天文台とコミュニティとの意思疎通についていろいろな動きがあったことを背景に) 光赤天連としては意見を出すとか行動を起こさないのか? このままでは「光赤天連は特に意見はない」と受け取られる。

→運営委員会で議論をしましたが、**光赤天連としての、あるいは運営委員会としての意見書や声明を出すことはしませんでした。**ただし、運営委員会・研究交流委員会・科学戦略委員会への推薦者を連絡するメールで「最後に一言付言いたします。私は光赤天連運営委員長として、国立天文台の重要な意思決定に関わる各種委員会への委員推薦を通じて、国立天文台と大学などの研究者との連携の橋渡しをすることは、光赤天連の重要な役割の一つであると考えています。この連携がしっかりしてこそ日本の天文学は世界をリードする地位の一角を占めるまでになれていて、そしてこれからもこの連携をより緊密にしていくことが、将来において天文学の発展を促進する鍵になると考えます。このことを念頭に、光赤天連の行なうべきことをしっかりと履行すべく活動していきたいと思っております。」という文言を入れました。[gopira:01137]

実際にいただいたご意見について 2

- 光赤外と電波は国立天文台の二つの柱。TMTがしっかり進められるかどうかは電波分野にも大きな影響をもたらす。赤外分野と電波分野の研究者が2030年代の地上観測天文学をどうしたいのかを徹底議論するシンポジウムを、光赤天連と宇電懇の共催で開催することを検討してもらえないか？

→具体的に動けてはいませんが、今後検討したいと思います。

実際にいただいたご意見について 3

- COVID-19問題で、海外で就職が決まっていた優秀な若手が、海外に行けなくなり路頭に迷いはじめていると聞いた。このような問題で苦しんでいる若手が光赤天連メンバーにいるのか、光赤天連として調査し、もしあればサポートや国立天文台に緊急の受け皿になってもらう事を要請する、というようなことはできないか？
- 国立天文台の方で把握に努め、実際に受け皿となっているという情報がありましたので、特に何もありませんでした。